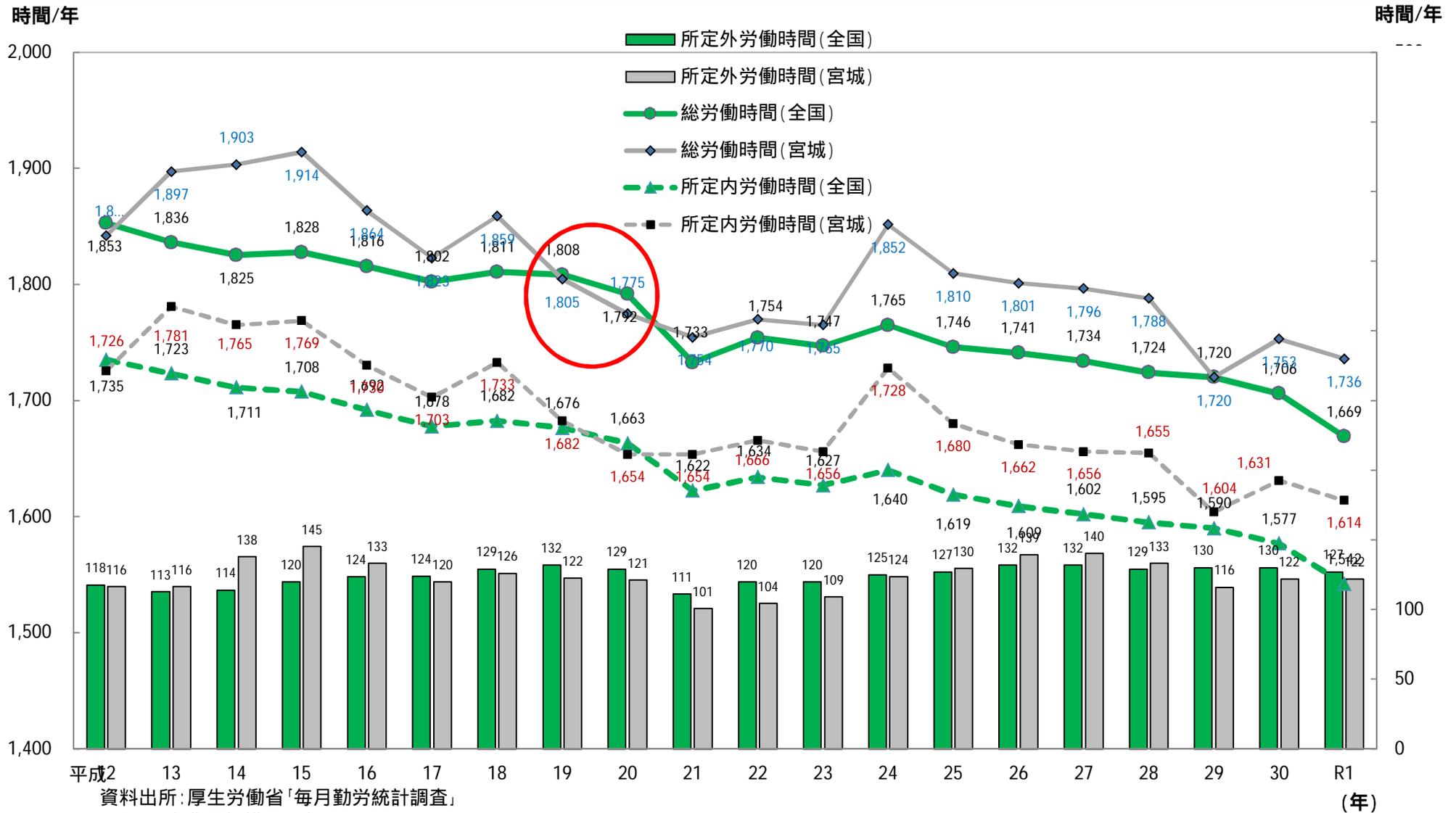


# (1) 年間総労働時間、所定内労働時間、所定外労働時間の経年変化について全国との比較

総労働時間は、平成19年時点で全国平均と同程度となったが、その後増加に転じ、令和元年度では全国平均より67時間増の1,736時間となった。

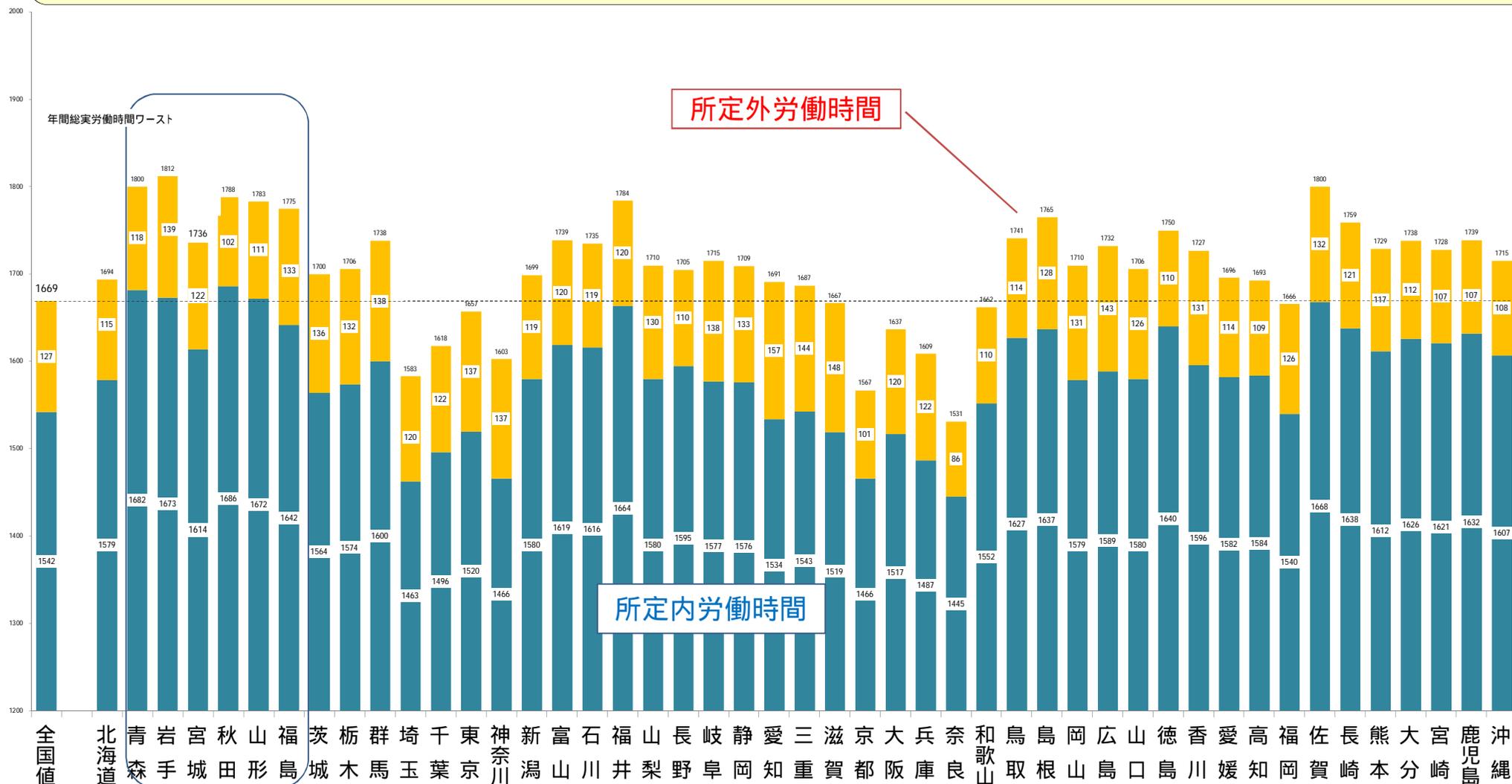


資料出所：厚生労働省「毎月勤労統計調査」

- (注) 1 事業所規模5人以上。
- 2 数値は、年平均月間値を12倍し、小数点以下第1位を四捨五入したものである。
- 3 所定外労働時間は、総労働時間から所定内労働時間を引いて求めた。
- 4 全国の数値は、毎月勤労統計調査全国調査の結果。

## (2) 都道府県別の年間総労働時間、所定内労働時間、所定外労働時間（令和元年）

東北ブロック内における各県の総労働時間はいずれも全国平均を上回り、宮城を除き所定内労働時間が全国の総実労働時間1,669時間より長い。ブロック内では、宮城は総労働時間は1,736時間と最も短いものの、所定外労働時間が岩手の139時間に次いで122時間と長い。



資料出所：厚生労働省「毎月勤労統計調査」

(注) 1 事業所規模5人以上。

2 数値は、年平均月間値を12倍し、小数点以下第1位を四捨五入したものである。

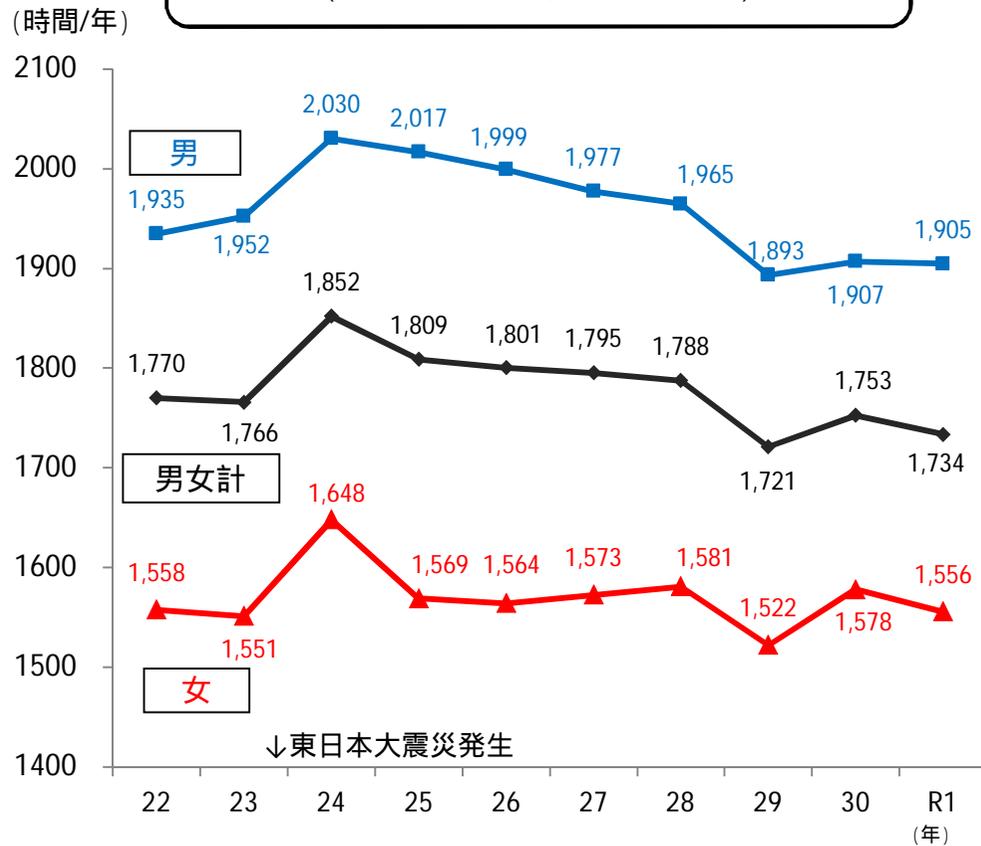
3 所定外労働時間は、総実労働時間から所定内労働時間を引いて求めた。

4 全国の数値は「毎月勤労統計調査全国調査の結果」

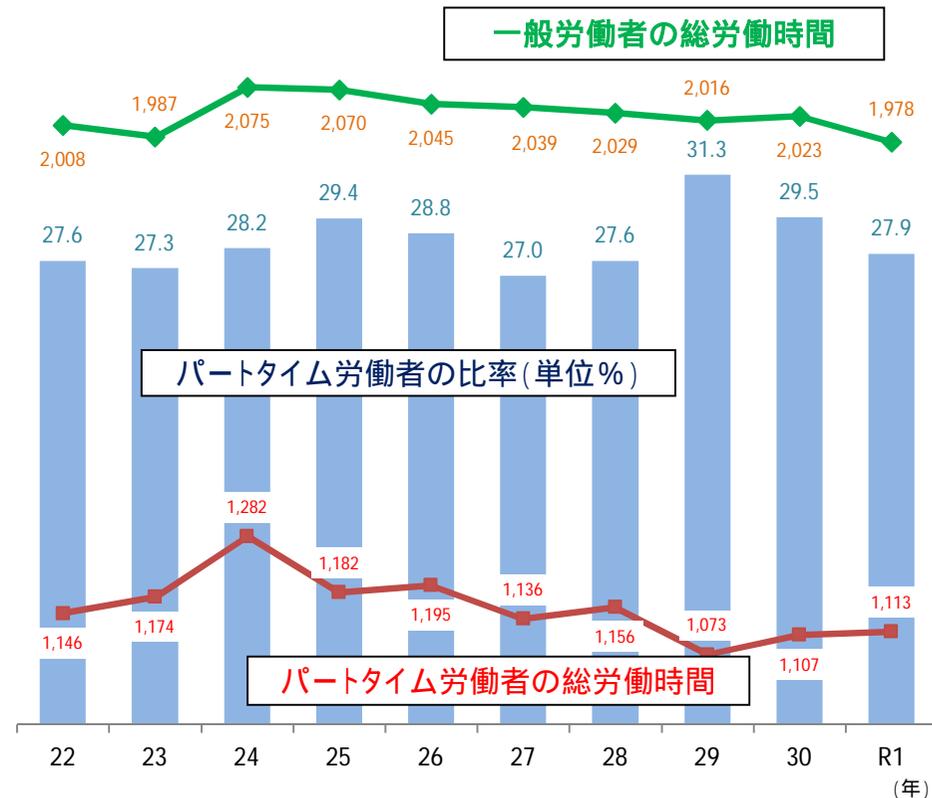
### (3)a 男女別 就業形態別 年間総労働時間の経年変化(宮城)

男女別の年間総労働時間は、平成29年までに男は減少、女は微増が、その後、男女ともに増減している。就業形態別年間総労働時間数やパートタイム労働者の比率は、近年、大きな変化が見られない。

男女別年間総労働時間の推移  
(パートタイム労働者を含む)



就業形態別年間総労働時間及び  
パートタイム労働者の比率の推移



資料出所:「毎月勤労統計調査」

(注)1 事業所規模5人以上、調査産業計

2 平成23年については、3~5月分データが不明(東日本大震災の影響)のため、1~2月及び6~12月分の平均値と仮定し、算出した。

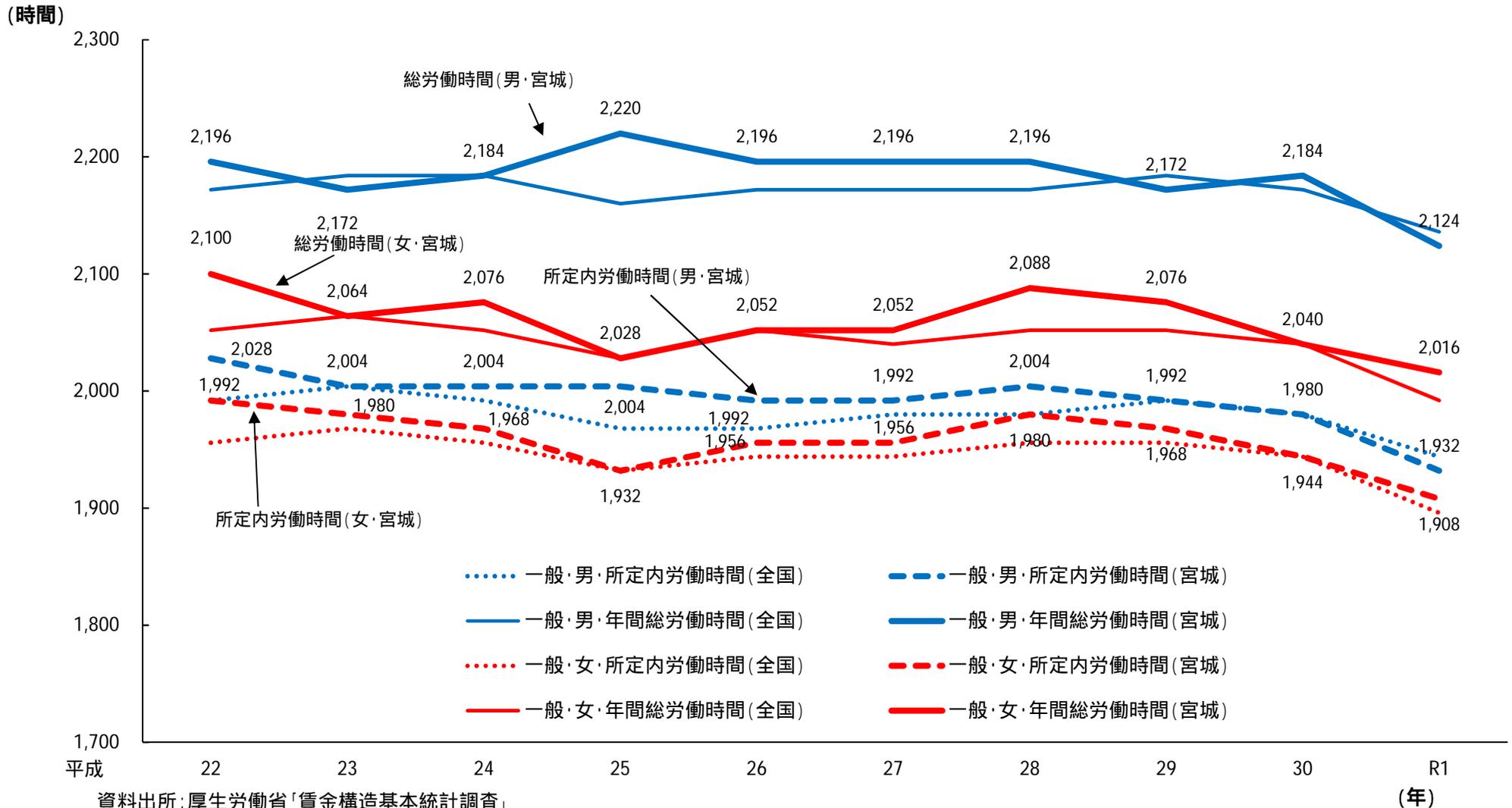
資料出所:「毎月勤労統計調査」

(注)1 事業所規模5人以上、調査産業計

2 平成23年については、3~5月分データが不明(東日本大震災の影響)のため、1~2月及び6~12月分の平均値と仮定し、算出した。

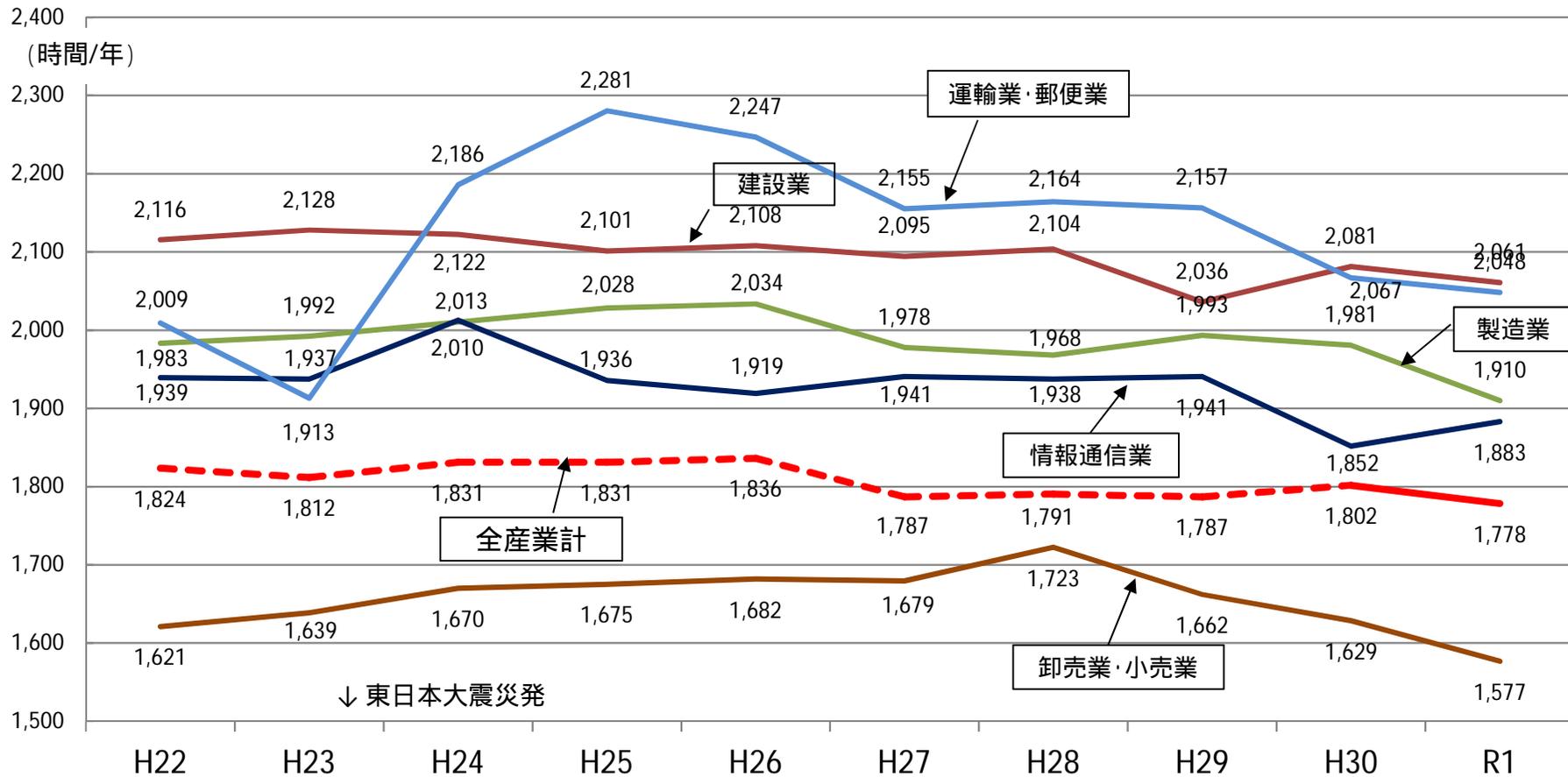
### (3)b 男女別 所定内労働時間、年間総労働時間の経年変化(一般労働者 宮城と全国)

宮城県の全労働者のうち、一般労働者の年間の総労働時間、所定内労働時間がともに全国より長い傾向にあったが、近年、全国平均に近づき、R元年の男はともに全国を下回った。



#### (4)a 主要産業別年間総労働時間の経年変化(全労働者・宮城)

建設業や運輸業・郵便業では全産業より年間総労働時間が長い。  
卸売業・小売業では全産業より年間総労働時間が短い(パートタイム労働者の比率が高いため思われる)。



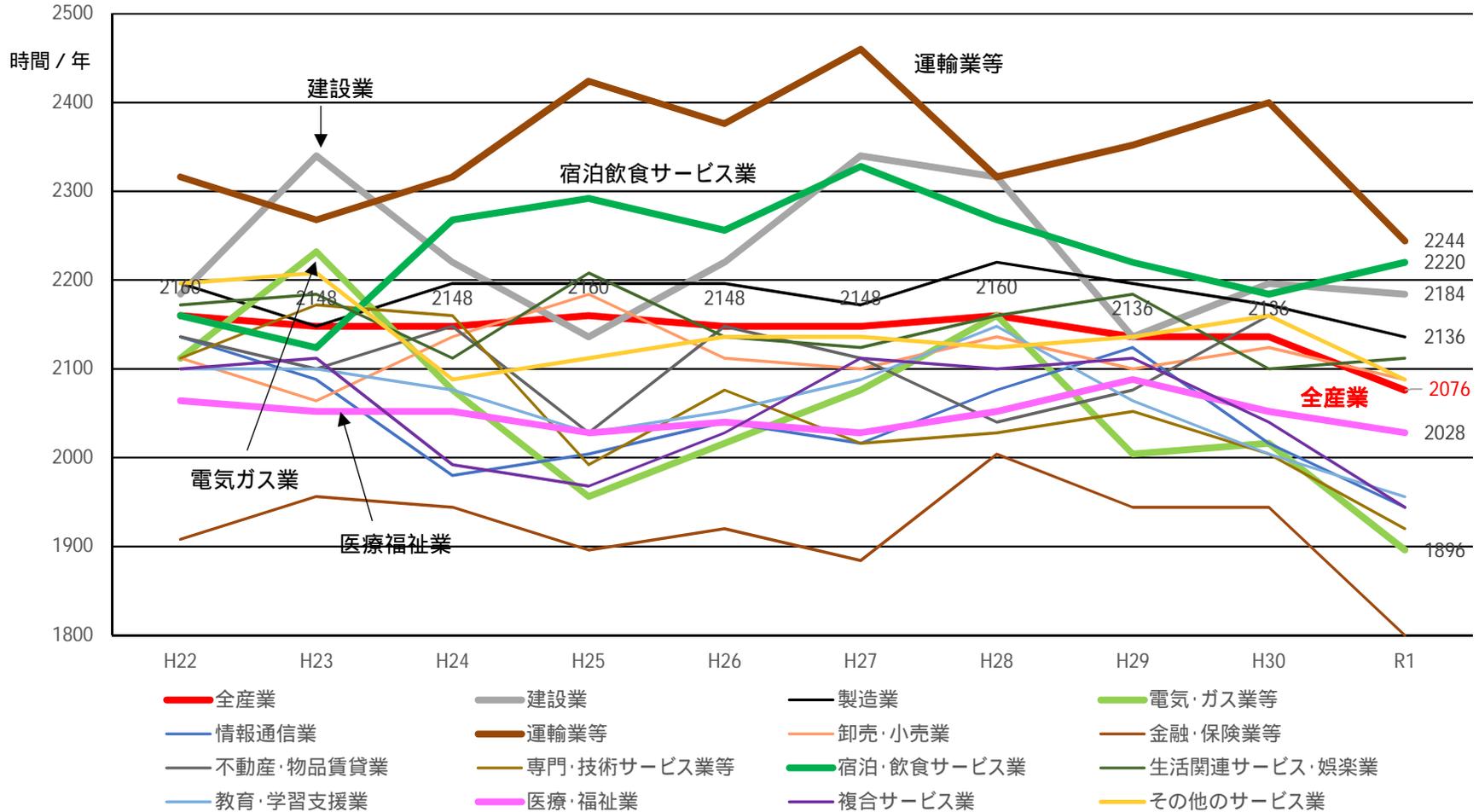
資料出所:「毎月勤労統計調査」

(注)1 事業所規模30人以上。

2 平成23年については、3~5月分データが不明(東日本大震災の影響)のため、1~2月及び6~12月分の平均値と仮定し、算出した。

## (4)b 産業別 年間総労働時間の経年変化(一般労働者・宮城)

宮城の全労働者のうち、一般労働者の年間総労働時間は、全産業では平成22年以降ほとんど変化がみられない。  
 産業別でみると、建設業、電気ガス業が平成23年に一時増加したが、震災復興需要の関係であると考えられる。また平成24年以降運輸業・宿泊飲食サービス業で増加し、平成26年以降建設業で再び増加したが、令和元年度においては、宿泊飲食サービス業を除き減少した。

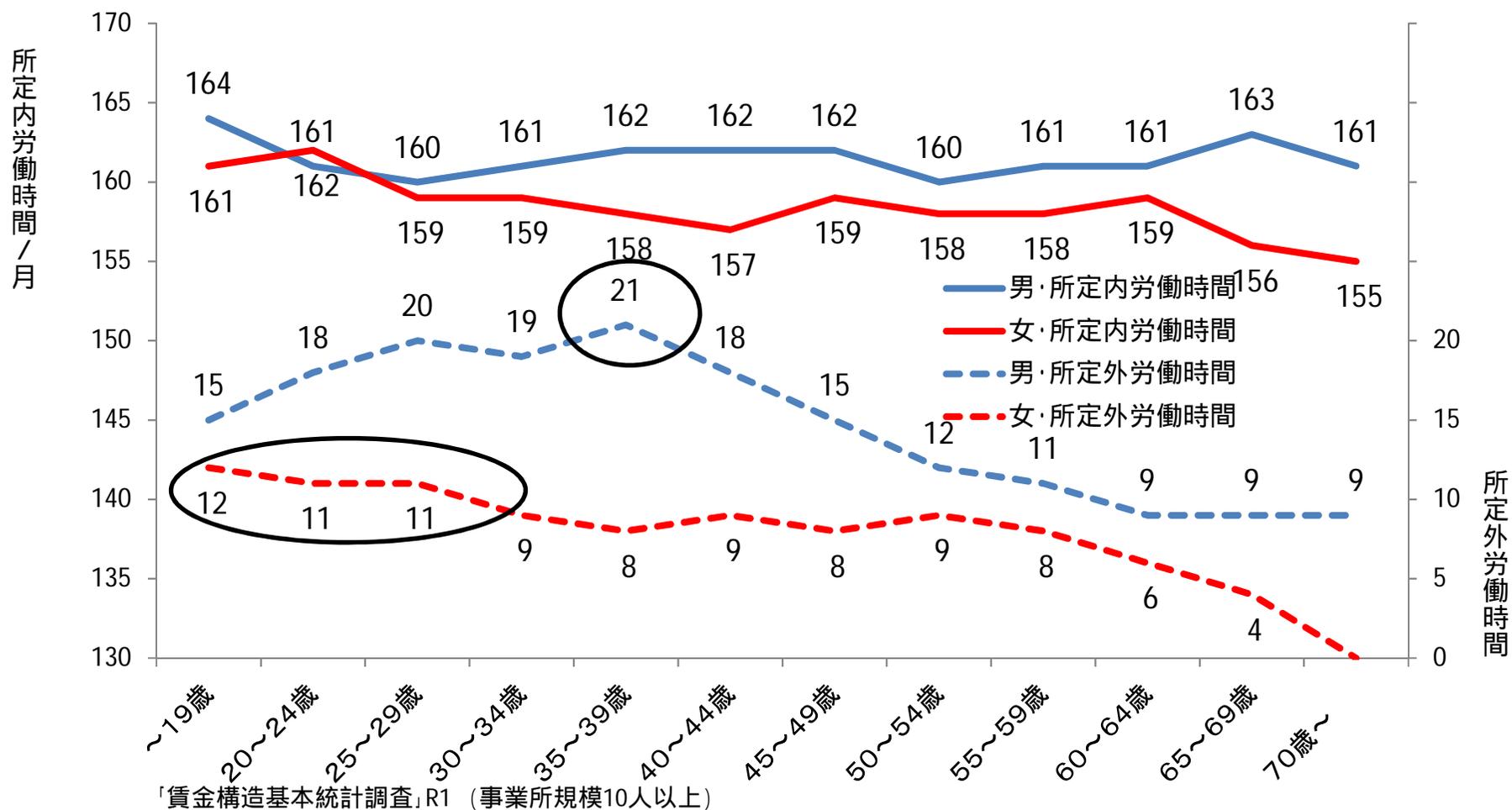


資料出所:「賃金構造基本統計調査」R1 企業規模10人

## (5) 男女・年齢階層別 所定内・所定外労働時間 (宮城)

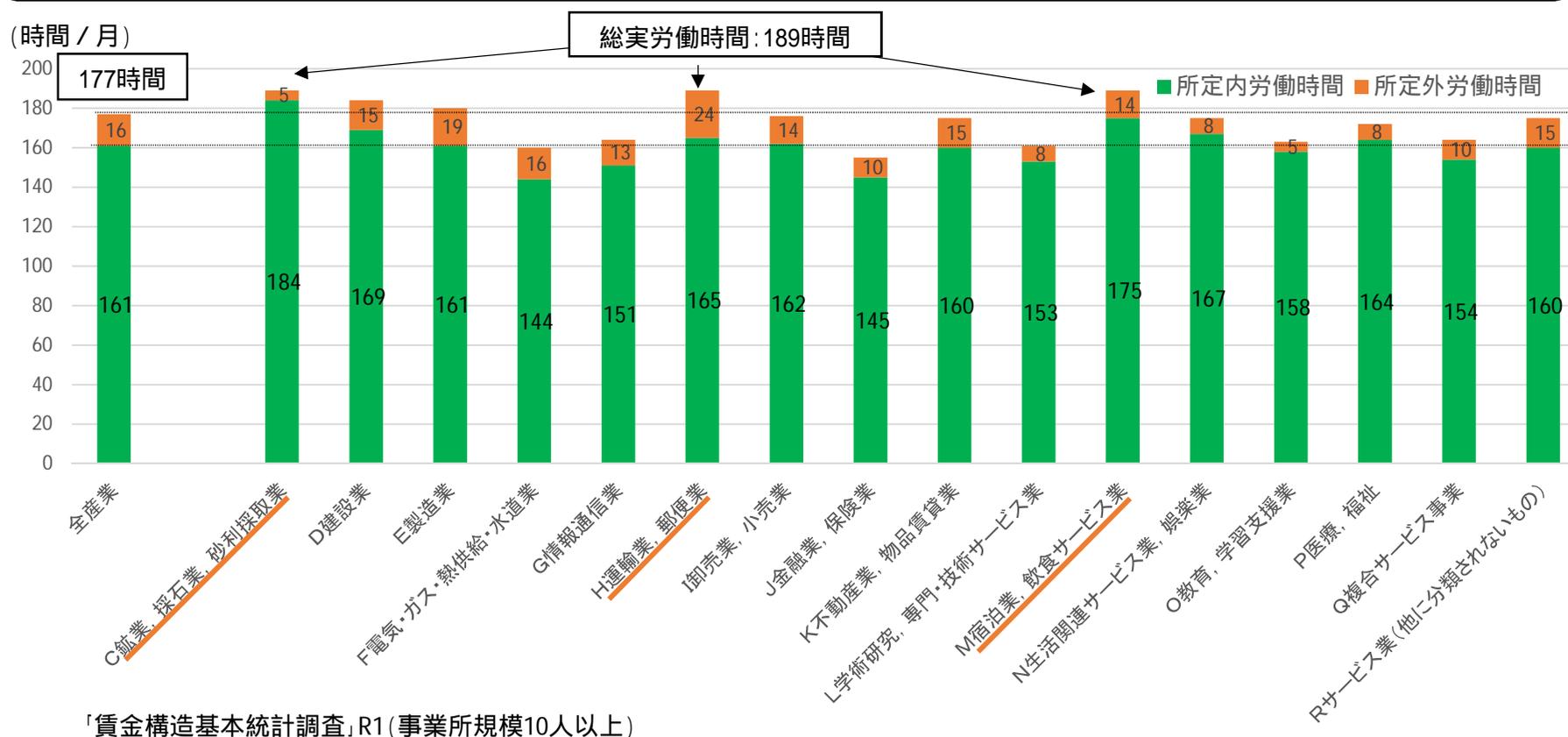
所定内労働時間を男女・年齢階層別にみると、男は月160時間を超えている。女は25～64歳までにおいて158時間前後で推移している。

所定外労働時間は、男は35～39歳、女は～29歳までをピークとして、それ以上の年齢で減少。



## (6)a 産業別 所定内・所定外労働時間(宮城 一般労働者・男)

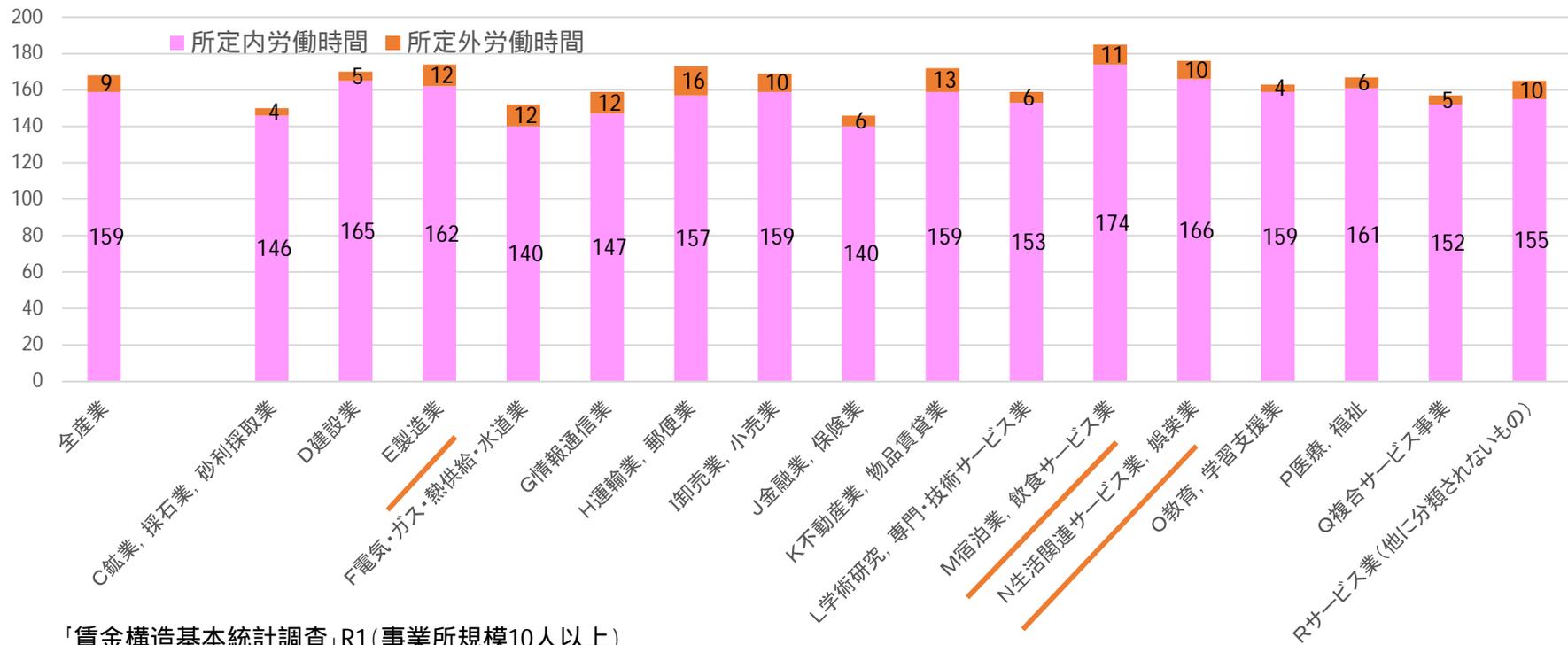
一般労働者・男の所定労働時間を産業別でみると、C鉱業が全産業より23時間長い184時間と最も長く、続いてM宿泊業・飲食サービス業と続く。所定外労働時間では、全産業の16時間より8時間長いH運輸業・郵便業の24時間が群を抜いている。



## (6)b 産業別所定・所定外労働時間(宮城 一般労働者・女)

一般労働者・女の所定内労働時間と所定外労働時間を産業別にみると、M宿泊業・飲食サービス業は、所定内労働時間が最も長く、N生活関連サービス業、製造業と続く。所定外(超過)労働時間は、H運輸業・郵便業が全産業より7時間長い16時間と最も長い。

(時間/月)



「賃金構造基本統計調査」R1(事業所規模10人以上)